PRESS　RELEASE
報道機関各位

学校法人札幌国際大学
札幌国際大学
札幌国際大学短期大学部　札幌国際大学大学院

2026 年 11 月 16 日

『梨泰院クラス』の制作の舞台裏を学ぶ
韓国ドラマの演出家 キム・ソンユン監督が特別講義
～作品の舞台裏から学ぶ、映像コンテンツと観光の可能性～

札幌国際大学（札幌市清田区）では、11 月 13 日（金）、観光学部の学生を対象に、韓国ドラマ『梨泰院クラス』などを手掛けたキム・ソンユン監督による特別講義を開催しました。当日は約 60 名の学生が参加。世界的な人気を集めた作品のキャスティングや撮影地選定、撮影現場での工夫など、制作に携わった監督本人から直接、作品の舞台裏について話を聞きました。

講義では、監督が手掛けたドラマ『梨泰院クラス』を題材に出演者のキャスティングや撮影地の選定、撮影現場での工夫など、作品が完成するまでの舞台裏が紹介されました。キャスティングでは、役柄との相性や演技力に加え、ほかの出演者との調和も大切にしていることを説明。パク・ソジュンさんが主人公パク・セロイを演じるにあたり、役づくりのために特徴的な髪型にしたエピソードなど、具体的な事例を交えて語りました。

また、監督は撮影地について「もう一人の登場人物」と捉えていると説明。多様な人々が行き交う梨泰院の街並みや雰囲気が、作品の世界観や登場人物の背景を表現するうえで重要な役割を果たしたことを紹介しました。実際のハロウィーン当日の梨泰院で撮影したシーンについても、周辺に約 25,000 人が集まる中、約 150 人の支援スタッフを配置して撮影に臨んだエピソードも紹介されました。



講義を行うキム・ソンユン監督

今回の特別講義は、観光学部観光ビジネス学科の呉泰均（オ・テギュン）准教授とキム・ソンユン監督との縁をきっかけに実現しました。日本語と韓国語を中心とした言語・異文化コミュニケーションや国際観光を専門とする呉准教授は、韓国の大学時代の後輩を通じて監督と知り合い、今回の講義を依頼しました。

映像作品の舞台となった場所が、作品の人気とともに観光地として注目されるなど、映像コンテンツと観光には深いつながりがあります。そこで、観光を学ぶ学生に、作品を制作する側の視点から撮影地選定や演出の考え方を学んでもらう機会として、今回の特別講義が企画されました。



講義中、学生たちは真剣な表情で話に聞き入り、作品の一つ一つのシーンに関する質問が相次ぎました。

韓国人留学生から多くの質問が寄せられたほか、日本人学生も韓国語で質問するなど、作品への関心の高さと活発な交流が見られました。

映像作品を制作する側の視点から、物語と撮影地の関係や、作品が人々に与える影響について考える機会となりました。

キム・ソンユン監督　プロフィール

- **主な演出作品**

- 『梨泰院クラス』（2020 年）
- 『雲が描いた月明り』（2016 年）
- 『アンナラスマナラ－魔法の旋律－』（2022 年）
- 『プロボノ』（2025 年）

2001 年に韓国の放送局 KBS に入社し、番組制作を経てドラマ制作に携わる。
その後、JTBC でのドラマ制作を経て、2021 年からフリーランスの演出家として活動中。



講義中のキム・ソンユン監督

キム・ソンユン監督から日本の学生へのメッセージ

自分の好きなことや、やってみたいと思うことがあるなら、ぜひその気持ちを大切にしてください。最初から難しいと決めつけたり、失敗を恐れたりするのではなく、まずは一歩踏み出してみることが大切です。自分が本当にやりたいことに対して全力で取り組み、迷わず挑戦してみてください。皆さんのこれからの可能性を信じて、さまざまなことに積極的にチャレンジしてほしいと思います。



キム・ソンユン監督と学生の記念撮影



学生からの質問に笑顔を見せるキム・ソンユン監督

札幌国際大学では、観光に関する学びを通じて、地域の魅力や観光資源を多角的に捉える力を育んでいます。今回の特別講義は、映像コンテンツと撮影地、観光とのつながりを学び、観光の新たな可能性について考える機会となりました。

【お問合せ先】
札幌国際大学　観光学部観光ビジネス学科 准教授 呉　泰均　oh-taekyoon@ts.siu.ac.jp
札幌国際大学　広報課　中村之則　yukinori-nakamura@ad.siu.ac.jp
札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4－1　TEL 011-881-8844